

これからも、ひたすらに、

日本のために。

日本がどういう国であるべきか。あるべき姿はどのようなものか。

様々な切り口から多様な答えがあると思いますが、私は東京のようないまどこのみならず、日本全国の各地域に活気があり、様々な発信力があり、世界からも注目される、そういう足腰の強い地域の集合体でありたいと思っています。

そして、住んでいる人が、ここでなら自分のやりたいことをできる、自分の生きたい人生を実現できると希望を持つて生活でき、自分の子や孫にも住んでもらいたいと胸を張って薦められる地域だと考えます。

これは生き方の多様性を提示することにもなるので、地域だけでなく日本全体にとつても大きなプラスになるものです。

この観点から、私は地方創生を私のライフワークの一つとして位置付けています。そして現場を見、声を聞きながら、課題を整理して政策に落とし込み、結果につなげる努力をしています。

昨年、「新しい地方経済・生活環境創生本部」の政策の柱に入れた「ふるさと住民登録制度」と「広域リージョン連携制度」がスタートしました。次はこれらを活用して、全国各地で結果を出していくことが大切です。

「消滅自治体」が現実化していくなかで、この問題は待ったなしです。地方だけに効果があるのでなく、首都圏に住む我々にも新しい生き方の選択肢を提供し、幸福度を高めてくれるものと信じています。

言いだしつべとして、国の変化を実感できるよう全力を尽くしていきます。

国民の安全な生活、 安心な毎日を全力で守るために

経済と暮らし

◎労働力不足への対応

社会保障と教育

◎賃金アップは当たり前の社会へ
◎戦略的財政出動で「強い経済」
◎生活インフラの維持更新充実を

防災と警察行政

◎生き抜く力と自ら考える力を養成する教育を

◎防災担当大臣の経験を糧に防災対策を加速

◎國家公安委員長の経験をもとに、安全な社会を

「おひとりさま」問題、
労働力不足

◎身寄りがなくとも安心して幸せに生活できる社会制度の実現

◎国民が希望を創り、ともに実現する国へ



さかい(坂井)学プロフィール

昭和40年9月4日生まれ

- 野球少年
(武蔵府中リトルシニア、都立国立高校)
- 東京大学法学部卒
- 松下政経塾時代に、熊本県などで地域づくり活動に従事。
- 政経塾卒塾後、熊本県で土壤浄化法を用いた汚水処理の会社で働きながら、自然農法による農作物栽培を実践。
- 東日本大震災直後に地元の仲間たちと募金、炊き出し、物資提供などの活動をする「ゆいっこ横浜言いだしつべ支部」を立ち上げ、現在もご縁をいただいた日本各地の復興応援を行っている。
- 地方創生、復興応援、防災、「おひとりさま」等をライフワークにしている。

主な経歴(衆議院議員6期)

防災担当大臣 国家公安委員長
内閣官房副長官
総務副大臣 兼 内閣府副大臣
財務副大臣
国土交通大臣政務官 兼 復興大臣政務官
自民党 2027横浜国際園芸博覧会
(花博)推進特命委員長

元 横浜市立豊田中学校 PTA会長

家族:妻と娘3人

趣味:野菜づくりとスパイスを使った料理づくり

好きな言葉:「雑魚は雑魚なり大海を泳ぐ」

sakaimanabu.com



自由民主党

さかい 学

まなぶ